

日本の理想郷を創る 「内陸のフロンティア」を拓く取組

～多様なライフスタイルの実現～



日時

平成29年3月27日(月)

13:30～16:00

会場

ホテルセンチュリー静岡
5Fセンチュリールーム

入場無料

事前の申込みが必要です

静岡県が進める防災・減災と地域成長の両立を目指す「内陸のフロンティア」を拓く取組は、沿岸・都市部と内陸・高台部のそれぞれの地域資源を生かし、県土全体の均衡ある発展を図るものです。このたび、県内全域に広がり、目に見える形となった取組を紹介する機会を設けましたので御案内します。

プログラム

開会あいさつ	静岡県知事 川勝 平太
静岡県の取組状況と今後の取組方針	政策企画部長 森 貴志
事例発表	取組事例 ※詳細は裏面を御覧ください
閉会あいさつ	内陸フロンティア推進コンソーシアム代表 静岡県商工会議所連合会 会長 酒井 公夫



● 申込方法

「企業・団体名」「役職」「氏名」「住所」「電話番号」を記入の上、内陸フロンティア推進コンソーシアム事務局 Eメール (frontier@po.seri.or.jp) または FAX (様式は裏面) で申し込んでください。
※申込期限: 3月10日(金)まで(参加者数の把握の都合上、可能な限り2月20日(月)までに申し込みをお願いします)

発表者リスト

内陸・高台部

新しい産業



磐田市(西部)
ICTを活用した施設園芸用地や観光交流施設と津波避難タワーの一体的な整備など4つの取組を実施。

株式会社スマートアグリカルチャー磐田
ICTの活用により、種苗から生産、加工、販売までを一貫して行う農業ビジネス「磐田スマートアグリカルチャー事業」を推進。

内陸・高台部

新しい産業



小山町(東部)
木質バイオマス発電所、工業団地などを一体的に整備する再生可能エネルギーを活用した産業拠点整備事業や住宅団地の整備など、8つの取組を実施。

大和ハウス工業株式会社
小山町の工業団地に進出。また、富士市に建設中の物流施設など他市町でも事業を展開。

沿岸・都市部

新しい産業



吉田町(中部)
東名吉田ICに近接する地域において、平成28年4月に商業施設が開業、10月に地域住民の避難場所であり、応急仮設住宅用地となる防災公園が供用開始。供用に併せ、立地企業と町が災害時の応援協定を締結し有事に備えた体制を整備。

内陸・高台部

ライフスタイル



御殿場市(東部)
駒門工業団地における間伐材利用材チップを活用したバイオマスボイラーなどのエコシティ化推進事業のほか、工業団地整備や住宅団地整備の3つの取組を実施。

株式会社リコー
御殿場市エコシティ化構想と連携し、地域のトップランナーとして既存の灯油エネルギーを木質バイオマスエネルギーに転換。低炭素化は勿論のこと森林保全・林業活性化・雇用創出などに多くの効果を発揮。

内陸・高台部

ライフスタイル



川根本町(中部)
高度なICT環境を生かした多様な働き方を実現するテレワーク導入支援とサテライトオフィスの誘致を推進。

ゾーホージャパン株式会社
豊かな自然環境の中で、従業員やその家族がゆとりある生活を目指すサテライトオフィスの実証実験を平成28年11月から実施。

沿岸・都市部

ライフスタイル



袋井市(西部)
平成27年度末に着手した豊沢工業団地とその造成発生土を活用した防潮堤「袋井幸浦の丘」整備が着実に進捗。今後は事業実施が見込まれる小笠山山麓開発の発生土も活用予定。また、一部完成した防潮堤において、地域住民との協働で植樹を実施。

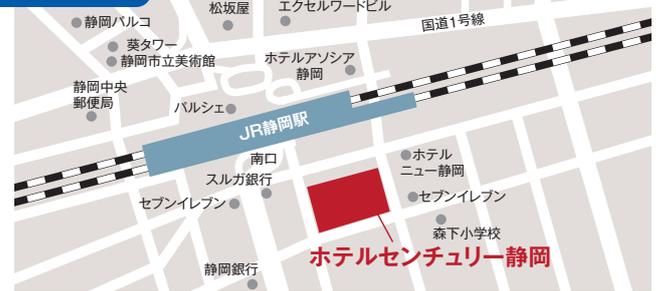
沿岸・都市部

ライフスタイル



西伊豆町(賀茂)
大学生等との連携により集落の維持・発展を図るため、旧田子中学校を宿泊機能・交流機能を有する活動拠点として整備し、有事の際は、避難所や物資保管場所、ボランティアの活動拠点としても活用。

会場案内図



● 問い合わせ先
静岡県政策企画部 政策推進局 地域振興課 電話: 054-221-2204
内陸フロンティア推進コンソーシアム事務局 (一財) 静岡経済研究所 電話: 054-250-8750

FAXでの申込書(FAX.054-250-8770)

※FAXで申し込む場合には、下表に必要事項を記入し、そのまま送信してください(3月10日迄まで)

企業・団体名	役職	氏名	住所	電話番号